

F-16戦闘機コープノース参加に向けて離陸

2012年2月14日（火）

第35戦闘航空団所属F-16戦闘機（10機程度）が、日米豪共同訓練コープノースに参加するため三沢基地を離陸しました。この共同訓練は共同訓練による部隊の戦術技量及び日米豪共同対処能力の向上を目的として、グアム基地および周辺地域において約2週間のスケジュールで実施される予定です。

「スケールの大きな訓練に参加できる事をとても楽しみにしている。これは我々に

とって

とても重要なこと”と、トーマス・フューグラー大尉は申しております。



第35戦闘航空団報道部

フィリップ・バターフィールド3等曹長